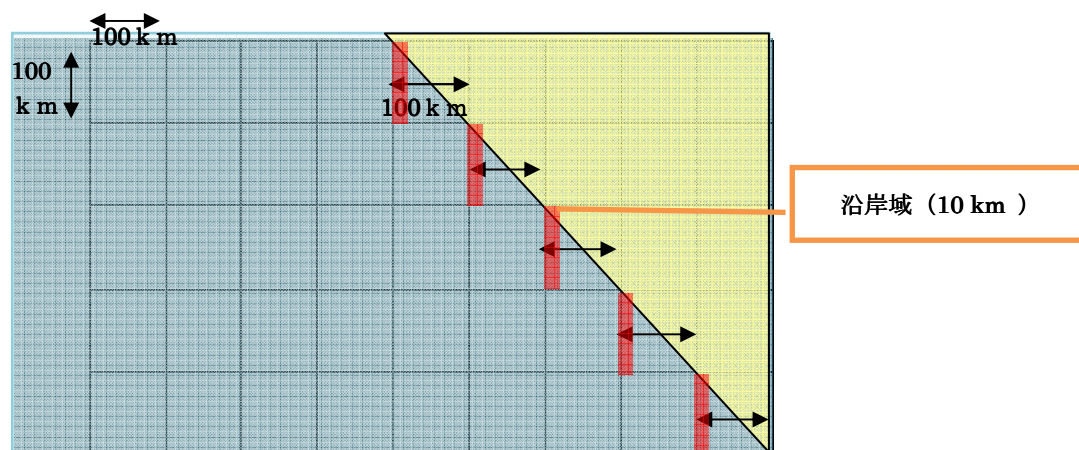


2012年10月、12月及び2013年2月時点での洋上漂流物の北米大陸の西海岸の沿岸域への到達量（試算）



○ 以下の条件にて、当省において独自推計したところ、2012年10月、12月及び2013年2月時点における北米大陸西岸の沿岸域への到達量は、表1のとおりである。

<条件>

- ・ 標準漂流物（家屋が壊れて生じた板等）のケースで試算。
- ・ 漂流物の全体の量は、当省の総量推計結果より 1,330,000 t（「家屋等」のうち漂流ごみ分）と仮定。
- ・ 沿岸域を陸域から沖合 10km の範囲とする。
- ・ シミュレーションにより到達が予測される北米大陸西岸の沿岸 100km の範囲に存在すると推定される洋上漂流物の量と総量の比を算出し、その結果を用いて沿岸域における同比を推計。なお、漂流物は同範囲内に均等に分布していると仮定。
- ・ 沿岸域における洋上漂流物量と総量の比の推計値は表1上段、また、沿岸域に存在する洋上漂流物量の推計値は表1下段のとおりとなった。

表1

	2012年10月	2012年12月	2013年2月
沿岸域(10km)の範囲に存在する量(総量比、%)	約 0.000093 %	約 2.331 %	約 3.102 %
沿岸域(10km)の範囲に存在する量 (t)	約 1.2 t	約 31,000 t	約 41,300 t

- 以下の条件にて、当省において独自推計したところ、洋上漂流物が上記の沿岸域に占める面積は、表2のとおりである。

<条件>

- ・ 沿岸域の面積は、 $10\text{km} \times 100\text{km} \times 20 = 20000 \text{ k m}^2$ 。
- ・ 家屋等のがれき厚みを 0.05m と仮定。

表2

	2012年10月	2012年12月	2013年2月
沿岸域(10km)に占める面積 (%)	約 0.00000024 %	約 0.0062 %	約 0.00825 %

【参考】

- ・ 平成22年度版海岸統計（国土交通省河川局編）によれば、日本の海岸の総延長は35,643km
- ・ 環日本海環境協力センターの調査によれば、日本に漂着する海岸漂着物量は年間19万t程度とされている。